

環境厚生委員会

政策課題

所管事務調査

- ごみ処理に係る富士宮市一般廃棄物処理基本計画について
- 富士宮市立病院の事業報告について

【渡辺 佳正 委員長コメント】

環境厚生委員会の政策課題としては、市が令和3年度策定するごみ処理基本計画について提言することになりました。ごみ問題は、地球温暖化とも関係する今日の重要な課題です。

当委員会の政策提言案として、「静岡県海洋プラスチックごみ防止 6R 県民運動との連携」、「プラスチックごみと生ごみの資源化」、「自然災害時と感染症蔓延時のごみ収集運搬体制の整備」、「清掃センターと焼却灰最終処分場の使用可能期間の見通しを示すこと」、「ごみの分別徹底や不法投棄防止を呼びかける啓発活動の取組」などをまとめ、11月議会での提出に向けて最終の詰めを行っています。

また、所管事務調査では、市立病院の事業報告を受けて、コロナ禍でも医師確保の努力による循環器内科、外科、麻酔科医の増員で診療体制整備が進んでいること、及びワクチン接種への協力と新型コロナウイルス感染症患者に対する医療従事者皆さんの献身的なご尽力に対して、改めて心より感謝を申し上げます。



産業都市委員会

政策課題

- ふじのみやの一次産業イノベーションについて

【佐野 孜 委員長コメント】

政策課題の「ふじのみやの一次産業イノベーションについて」の取組として、8月に勉強会を開催し、畜産業の現状を視察し意見交換会を行いました。その後、畜産業を今後活性化させていくためには、何が課題となるのかを話し合いました。

その結果、ふん尿処理が大きな課題となっており重要であると考え、具体的な項目は「畜産ふん尿処理のイノベーション」と決定しました。

今後は、「ふん尿処理」についての実態を把握し、経費・販売ルートの問題、また、たい肥以外に利用できるものや、今までと視点を変えた方向性、既成概念にとらわれない新しい利用方法について、所管事務調査で調査・研究を行っていきます。

